

## 決算審査特別委員会

日 時 平成29年9月14日（木）  
午前9時～午前10時28分  
場 所 議場

出席者 委員長、副委員長、委員9名（欠席：なし）  
説明員 中曽病院事業管理者、古井事務部長、弓場事務次長  
田邊保育園長、大谷副園長  
傍聴者 なし  
書 記 岩崎事務局長、井川主事

○山本委員長 おはようございます。ただいまから決算審査特別委員会を開会いたします。  
まず、お手元の資料の確認をお願いいたします。

最初に、28年度決算審査に係る資料請求一覧という資料がございます。ありますでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それから、また1枚物で教育課から統計分類別貸し出し実績表という資料が1枚物の資料であると思います。裏にも記載がございます。御確認ください。もう一部ですが、決算審査特別委員会における質問への資料提出ということで、福祉保健課から資料が届いております。御確認ください。よろしいでしょうか。

そういたしますと、本日は、日南病院についての審査を行いますが、まず最初に、28年度予算審査特別委員会、27年度決算審査特別委員会における審査意見についてどのように取り組みられたのか御報告をお願いいたします。

中曽事業管理者。

○中曽病院事業管理者 そうしますと、今お話がありました件につきましてあわせて28年度病院決算につきまして、事務部長のほうから御説明申し上げますので、よろしく御審議をお願いいたします。

本日、事務部長と弓場次長が同席しておりますので、説明させていただきます。

○山本委員長 古井事務部長。

○古井病院事務部長 失礼いたします。予算審査特別委員会の審査報告書についての報告をさせていただきます。

予算審査の報告書では、町民のニーズの把握についてということでございました。過疎

化の進行に伴い患者数も減少し、病院経営も厳しさを増している。例えば町民へのアンケートを実施したり、直接意見を聞くシンポジウムを開催するなどして、日南病院の基本方針にもあるように、住民のニーズに対応した適正な医療の提供に努められたいということでした。これに対しましてですが、まず、平成28年度の6月に町民アンケートを実施しました。その概要については、広報等でお知らせしております。その中で、特に要望が多かったものが、高齢者医療の充実、小児医療や小児救急、外来診療の充実といったものでした。特に整形外科、小児科について期待がありました。整形外科については、診療日の増設を鳥大医局に引き続きお願いしてるところですし、あわせて待ち時間の対策として予約時間制を採用し経過しておりますが、順調に推移している模様です。小児科も診療の充実を図るべく医局に依頼してるわけですが、医局の人数にも限りがあるというようなことで、追加の派遣には難色を示されている状況です。

また、接遇面についても御指摘がありました。研修を重ねるなど努力してるところです。

それから、シンポジウムとまではいきませんでした。ふるさと祭りに出店し、日南病院の職員募集や簡単な検査を通じて病院になじんでいただけるようにしてみました。以上でございます。

○山本委員長 ただいま報告をしていただきましたが、このことについて質疑ございますでしょうか。（「なし」と呼ぶ者あり）

そういったしますと、28年度決算についての説明をお願いいたします。

古井事務部長。

○古井病院事務部長 失礼します。では、平成28年度病院事業決算の概要説明に移ります。資料としては、紙ベースの決算書とそれから決算附属資料を御用意いただきたいと思っております。

平成28年度においても、日南病院は自治体病院として適切な医療を提供するとともに、介護保険に対応した施設・居宅介護サービスを提供することにより、住民の福祉増進を目指し、さらに安全・安心、信頼と納得の得られる質の高い医療サービスを提供できるように、また、保健、福祉、医療の連携をとり、予防、診療、治療から在宅ケアまでを包括的な医療・介護サービスを心がけてきました。住みなれた地域で、高齢者がいつまでも住み続けられるよう医療、介護、福祉、住まい、生活支援に関するサービスを各機関が連携して提供するという地域包括ケアシステムの一翼を担って事業を行ってきました。

28年度における事業内容は、決算書及び附属資料等のごらんのとおりでございます。診療体制でございますが、29年の1月から眼科が週2回から1日に診療日が減ったことが上げられます。また、26年度から開設した皮膚科も徐々にではありますが、浸透していった患者数がふえている状況でございます。先ほども報告のところでも申しましたが、対応希望の多い整形外科と小児科については、鳥大医学部から医師を派遣していただき、週1日ないし2日の診察にとどまっていますが、引き続き、常勤医師の確保、またあわせて内科医、外科医の確保にも努めたいと考えております。議案上程の際に、管理者が説明申し上げたように、26年度の特別な事情があった場合を除き、30数年続いた黒字が実質の赤字となったわけで、今後さらに厳しい状況が続くことが予想されます。

では、決算状況について概略を説明したいと思います。決算書を見ていただきたいのですが、まず1ページ目は、収益的収支の決算額、2ページは資本的収支の決算額で、これは消費税を入れたものでございます。

3ページをごらんになっていただきたいと思います。ここからは、損益計算書でございます。以降、消費税抜きの費用ごとの決算額が記載してあります。3ページでは、医業・介護サービス収益に対してかかった医業費用を掲載しております。ここでは、医業損失となりまして、右下の医業損益ですね、いわゆる赤字で2億5,066万4,000円というふうになっております。

はぐっていただきまして、4ページ目です。医業外収益に対し医業外費用があります。2億1,313万8,000円のプラスということになり、これにより下段の当年度純損益の欄でございますが、差し引きマイナス3,748万2,000円の赤字決算ということになりました。

次ページから8ページまでは、貸借対照表となっております。

次、9ページでございます。これ剰余金の計算書でございますが、前年度までの減債積立金8,628万1,000円となっております。黒字ですと、決算認定を受けた後に積み立てるわけでございますが、赤字のため積み立てなしで当年度損失3,748万1,532円をそのまま、それ前年度までの未処分剰余金16億962万2,586円から差し引き、当年度28年度未処分利益剰余金が15億7,214万1,050円というふうになります。

次に、16ページお願いいたします。それと決算附属資料の241ページもあわせてごらんになっていただければと思いますが、ここでは患者数です、全体で患者数は年々減少

しておるといふ状況です。患者数については、入院患者が1日平均で51.0人となり、対前年マイナス5.7人と、特に大きく落ち込んでおります。外来・居宅患者数は、ショートステイの増により、1日平均139.1人で対前年1.3人の増となっております。こうして年々医業収益も減少しており、新たな加算の検討や報酬点数の検証などの収益アップや費用の削減努力をしておりますが、厳しい経営状況であることが御理解いただけたらと思います。

18ページから19ページにかけては、事業収益費用についての前年度比較をしております。収益面では、入院収益が13%の減、外来収益が0.4%の減、介護サービス収益が11.7%の増で、総収益は3.1%の減となりました。一方、次のページの費用面でございます。ここでは医業費用項目ごとに上げておりますが、給与費が2%の増、材料費が5.3%の減、経費が1.7%の減、減価償却費が電子カルテの更新の影響から4.2%の増、総費用が0.4%の増となっております。この詳細については、24ページから記載しておりますのでごらんいただきたいと思います。

次のページ、20ページでは、機器類の契約状況を記載しております。

次に、資本的収支に関しましては、ずっとはぐっていただきまして29ページからとなります。決算附属資料の242ページもあわせてごらんいただきたいと思います。収入としては、国県補助金が378万、企業債が790万、あわせて1,168万でございました。

支出、30ページになります。本館ボイラーの更新に270万、放射線科で使用しますデジタルラジオグラフィに756万、薬剤分包機に421万2,000円、その他の医療機器や一般機器での購入で合計1,674万円余り、それと企業債の元金償還金に1億1,091万3,000円、奨学金は2名に90万、それから、就職支度金も2名に200万となっております。収入と支出の相差1億2,157万5,000円は過年度留保資金から補填をしております。以上で要点説明を終了いたします。

○山本委員長 ただいま説明をしていただきましたが、質疑ございますでしょうか。

久代委員。

○久代委員 石見東太陽光発電所の売電差し引き利益部分の病院関係への決算書上のページ数と金額をちょっと確認しておきたいと思いますが。

○山本委員長 古井事務部長。

○古井病院事務部長 発電売電収入の件に関しましては、決算書の25ページをごらんい

ただきたいと思います。中段中ほどですね、右側にあります。項目としては、他会計負担金の中でございますが、一般会計繰入金ということで内売電収入分が1,058万2,000というふうに記載をしております。

○山本委員長 よろしいですか。（「わかりました」と呼ぶ者あり）

そのほかございますか。

古都委員。

○古都委員 まず一つ目ですが、決算書に20ページに物品購入契約ということで、たくさん書いてあるわけで、要約が概要にも書いてありますが、これのいわゆる買い入れの形態、例えば入札なのか、そういったところについて説明をいただきたいと思います。

○山本委員長 古井事務部長。

○古井病院事務部長 これに関しましては、ほぼ見積もりということで行っております。工事に関しましては入札ということをとっておりますけども、物品に関してはほぼ見積もりという形態で執行しております。（「相見積もりですか」と呼ぶ者あり）3社見積もりがほとんどです。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 全体の話なんですけど、先ほど冒頭説明もございました28年には、アンケート等を実施されて経営改善に努力するということの報告が実際されたことについて報告いただいたわけですが、それ以外にその人材不足という話ですね、看護師あたり、それ以外の随時募集みたいな形をしておられますけども、我々詳しくなくてよくわからんのですが、いわゆる今の病院経営で、例えば薬剤師が何名必要で今何名おる、それから看護師が何名必要で今何名おると、いわゆる不足の分母ですね、あたりについて説明をいただきたい、なかなか数字言われるとあれですから、後日でもいいですが資料でも結構ですので本当は何名いるんだけど今何名で、何名募集していると、そういったことがわかりづらいので簡単なものでございますので、そういうことができますでしょうか。

○山本委員長 中曾事業管理者。

○中曾病院事業管理者 資料がございますので、後日提出いたします。それで、基準上の必要人数と実態上の必要人数が違うという面が多々あります。特に介護施設あたりは、基準よりも実際はたくさんの介護職が要る、これは日南病院だけではありませんで、一般的に米子あたりの民間の福祉施設も含めて、とても基準上の人数では回らないというのが現実でございますので、そういったことも含めて資料をごらんいただきたいというふうに思

います。

○山本委員長 よろしいですか。

そのほかございますか。

久代委員。

○久代委員 附属資料のほうに、241ページです。先ほども事業部長のほうから説明がりましたが、年度別の入院患者、外来・居宅と表記してあります。とりわけこの患者数ですよね、全体で99床あって63人ということです。非常に全体として見れば空き部屋が多い状況だと、これに対してそのこの病床数のあり方、療養病床については国のほうがいろいろと今検討されている渦中にあるかとは思いますが、その一般病床、療養病床、介護病床、短期入所を含めて、どのような、この数字を見て、病床数のあり方等、院内で検討をまずされているのかということについてお聞きします。今後、見通し、限りなく満床に近い数字に持っていけるような見通しがあるのかどうかということも含めて、お聞きしたいと思いますが、どうでしょうか。

○山本委員長 古井事務部長。

○古井病院事務部長 この病床数ですけれども、ただいま99床あって実際には60何%ぐらいの稼働率というふうなことで推移しております。療養病棟のほうは、短期入所の利用がかなり上がっておりまして、利用率のほうはよくなっておりますが、一般病床のほうが昨年度は、例えば50%を切るってというような時期もございました。これに関して、院内で話はしてるんですけども、まず、一般病床については今の人員確保の面もございまして、これで退職なりなんなりして人員確保がかなり困難な場合は、スケールダウンをやむを得ないなというふうなことも話があつとります。療養病棟につきましては、このまま継続というようなことで、特にあかねの郷がユニットを閉鎖したりとかいうことで、ショート、ショートステイの受け入れがかなり難しくなっているような状況から、うちの介護、療養病棟のほうで受け入れざるを得ないというような状況もございますので、これはこのまま現状でいきたいというふうなことで協議をしてる状況でございます。

○山本委員長 よろしいですか。

そのほかございますか。

久代委員。

○久代委員 その日南病院の特にドクター、医者ですよね、前院長も定年を迎えて再雇用されてると。現院長もかなり年齢的にも定年間近だということで、その本当に自治体病院、

国保病院として日南町の医療を担う、将来的なこの医師のやっばり確保、ちょっと先般、たまたまその男女共同参画で日野町であった上野千鶴子という女性の講師でしたけども、呼ばれてまして、その高見院長とも話をされたということのお話がありましたが、そのやっばり若いというか、将来を担える若い医師をきっちり行政として誘致、誘致という言い方かどうかわかりませんが、やっばり本当に将来を担っていける医師をまずやっばり確保すべきだということも何か直接お話しされたということを知りましたが、その講演の中で、やっばりそのことに踏み出して行って、長年いろいろ安東先生から苦勞されて病院経営をやって来られたわけだけども、人間はやがて高齢を迎えてなかなか思うように、次の医療の中身も時代とともにいろいろ変わってくると思うし、その点ではやっばり新しい後継者をきっちり確保していかれることが非常に重要じゃないかなというふうに私感じてますけども、その実際に今のこの患者数の中でその隣の、隣町の日野病院とか西伯病院等に診療に出かけられる患者さんもかなり多いという話も実際聞いてます。まず第一に、初期治療としては、この日南病院に来てもらうということをして、やむを得ん次の治療については米子方面に出かけざるを得んということもあるかもしれませんが、まず最初は日南病院に来て初期治療してもらうということ、体制も含めてその抜本的に、特に医者確保を急ぐべきだというふうに私は感じますが、どうでしょうか。

○山本委員長 中曾事業管理者。

○中曾病院事業管理者 日南病院にとって、最も大事な課題だというふうに当初から思っております。従来から個別の対応も本当に相当な数の方をお願いをしたりした経過もありますし、各関係機関にもお願いしております。本当に、今現在そういう状況の中で、名誉院長、院長も、この中で一生懸命頑張っていたいておるわけですけども、やっばり新たな若いリーダーのもとで一生懸命地域医療やっていきたいというのは病院職員の願いでもあります。そういうことで、現在も個々に具体的にも動いておりますが、引き続き努力していきたいと、大事な課題だというふうに思っております。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 もう一つ、そのいわゆる経営の関係でございますが、日南病院は、先ほど報告があったように、長らく黒字経営で頑張っておられまして、当時の約束というのは、いわゆる交付税措置の中の病院相当分の繰り出しを全額という大前提でありまして、そういう財政対応がなされておったわけです。その上に、28年においては、いわゆる売電収入1,000万を超えるものをその病院の経営のほうに充当するということで、従来よりも

約束手プラス千数百万の繰り出しがあつとると思っております。そこで、諸事情で経営が苦しくなってきたという中で、きょうも報告ありましたが、例えば15億余りの、いわゆる未処分利益剰余金あたりですね、いわゆるこれまで蓄えたそのものがあるわけで、通例の場合には、こういうもので急場対応するんだらうと、いわゆる貯金に当たるものがあるので、そこら辺の支出等について、いわゆるどのように今後検討されていかれようとしてるのか教えていただきたいと思えます。

○山本委員長 中曾事業管理者。

○中曾病院事業管理者 お話がありましたように、現在、未処分利益剰余金が15億数千万あります。基本的に病院経営外の黒字が続きましたけども、時代とともに厳しい状況もあるということの中での未処分利益剰余金だというふうに認識してきておりますので、基本的に当面の経営上の厳しさについては、それを充当することで向かっていきたいと思えますが、その仕組みについて今検討中のごさいますして、決算処理で通常どおりいくのか、あるいは新たな何かの方法使うのか、またそういうことが成案ができましたら、議会にも相談させていただきたいというふうに思っております。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 決算審査は今病院だけの話なんですけど、やはり行政全体における各施設のバランス、経営状況、やはりそういうものが最終的にはいろいろ影響してくるんだらうと、先般の監査委員さんの意見の中にも、これまで求めて運営してきたあらゆる施設が、いわゆるそれぞれ人手不足だったりとか、いろんな意味で休止状態だったりとか、いわゆる財産としての価値が減ってきておると、維持するためには非常にたくさんのお金がかかると、そういう中においてももちろん日南病院も今そういうお話があったわけですけども、行政の中ではそういうものはたくさんあるんで、その行政全体のバランスということも考えなければいけませんけど、その中でも一番蓄えがあるわけで、そこら辺の利活用についても、本体の状況、それから皆さん方が頑張っておられる病院の経営状況等、バランスも考えた検討してもらわないと、なかなか本体が大変だらうというような気がしておりますんで、あわせてそういった面も含めたその蓄えの利活用あたりも、さらに検討いただきたいと思えます。お願いをいたしておきます。

○山本委員長 久代委員。

○久代委員 ちょっと先ほどの続きで、医師の確保の問題ですけども、その今の名誉院長と院長は、次の後継者についてどのように考えておられるのか、この間ずっと自治医科大



学の卒業された医師とか、大学病院から来られる医師とか、いろんな若手の優秀な医師も来られた経過があって、現在もそういう形で来られているわけだけでも、現に日南病院で仕事をされて、そういう人にやっぱりこの町の医師として働いてもらうというような働きかけをずっとこの間して来られたのかどうか、とりわけ現在の名誉院長、院長は、どのよう  
に考えておられるかという点も含めてお聞きしたいと思いますが。

○山本委員長 中曾事業管理者。

○中曾病院事業管理者 名誉院長、院長ともに新たな後継者を得るべくいろいろ今までも努力されてきましたし、一緒に私自身も一緒に動いたりしたというようなこともあります。特に日南病院には、研修医の先生方も次々現場臨床実習ということでいらっしゃいますので、そういう方にも話をされたり努力はしてきておりますが、実際にはそういった中から後継者、現時点では残念ながら出てきていないというのが実態でございます。

○山本委員長 そのほかございますか。

惠比奈委員。

○惠比奈委員 昨年の指摘事項の中の接遇面の改善についての取り組みが、各種研修に積極的に参加したというふうにおっしゃいましたけれども、具体的にどういう点を改善されたのかということをお伺いしたいと思います。

○山本委員長 古井事務部長。

○古井病院事務部長 主に看護部を中心に接遇研修のほうは行っております。例えばアンガーマネジメントっていう研修があるんですけども、怒りをどういうふうに押さえるかというような研修だったんですけども、そういった研修を中心にやっております。その具体的に目立ったその成果っていうのはなかなか表現するのは難しいんですけども、看護師、個々の心の中にはだんだんだんだん育っているというふうに思っております。

○山本委員長 惠比奈委員。

○惠比奈委員 大変大切な研修であると思いますし、それで一度に変わらなくとも少しずつその向上が図れば、なおいというふうに思いますけれども、そういったその心の持ちようの研修ということも大切ですが、具体的なその外来での患者さんへの接し方とか、例えば町民の皆さんが本当によく言われるのは、隣町の病院に行くと診察が始まる前になると、先生、看護師さん、一斉に並ばれて、おはようございます、ただいまから診察を行いますという挨拶をされるということなんです。私も経験しましたけれども、これはそこまでする必要はあるのかなと思っていたんですけども、実際にその場を見ました

ら、そんな仰々しいものではなくって全員というわけではなくって、本当に数人の方が並ばれて一斉に挨拶をされる、いい、本当にすがすがしい風景でした。ですので、同じようにまねをしてくださいとは言いませんけれども、例えばそれが一つの方法として参考にされるのもいいと思いますし、それから、やはり患者というのは病気の痛みや苦しみ、不安と一緒に病院に出かけるわけです。そういったときに看護師さんが手を握って優しく言ってくれたとか、先生が補聴器を当てて丁寧に診てくださったとかいう、そういう気持ちややっぱり満足感につながって、それもやっぱり病気の治癒に関係してくるというふうに思います。これは数字にはならないことですし、具体的になかなか難しいかもしれませんが、そういう面で一つ一つをその耳の遠い患者さんが来られるとか、同僚議員の中からよそは番号で表示できるように、今誰が診てもらっておるのか、自分は何番なので、ああもう2人待ったら診てもらえるなどかということがよくわかっていいとかいうこともあったと思います。そういうことについても、もう少し検討していただけないかなというふうに思います。

○山本委員長 古井事務部長。

○古井病院事務部長 隣の病院の例を出されました。確かに診療を始まるっていうところにそういったはじめをつけるってというのは、見とって気持ちがいいかなというふうには感じております。それと患者さん、個々に対しての接し方ですけども、それについては大分院内でもそういった話がございますので、看護部長なり、それからそういったものを通じて大分指導してもらってるというふうに感じておりますし、実際にこないだですけども、意見箱ってというのがございまして、一部ですけども、一部の科については大変非常に待遇がよくて満足してるというような御意見もございました。それを院全体に広げていこうというふうな心意気でおりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○山本委員長 そのほかございますか。

大西委員。

○大西委員 28年度の入院施設の病床数とか、等々あります。この中でちょっと計算式を教えてくださいたいんですが、入院施設の場合、年間2万2,100人、実績は1万8,628人ですが、これは日数としてはどのような割り方をされてるのか、まずそれを教えてくださいたいのは、実績が1万8,628人に対して、28年度実績は63人ですね。これ割ると295なるんですよ。これを母数365とか、そういう計算じゃないんですか。

○山本委員長 古井事務部長。

○古井病院事務部長 入院に関しましては、365日で一応しております。それが分母です、となっております。全体が63人ということで計算式が200何日にしかならないということでございますが、ちょっと…。

○山本委員長 中曾事業管理者。

○中曾病院事業管理者 済みません。いろいろ医療の世界は定義がややこしいところがありまして、厳密に言えば入院というのは、一般病床、それから医療療養、それから介護療養ですね、それから短期入所については、居宅の分類に入りますので、決算書の、済みません、16ページの業務医療で人数が書いてますけど、この1万8,628人というのは、ショート入っておりません。ショートはその下の外来・居宅の中の居宅介護の中に入っております。1万8,628を365で割って1日平均51.0っていうのは附属資料のほうの左の3つですね。一般病床、医療療養、介護療養を合わせたのが51.0になるはずでございます。端数も関係あるかもしれませんが、それとあわせて外来については、1年間の外来診療日数244日程度かと思っております。（「243」と呼ぶ者あり）243日ですね。が分母になります。よろしいでしょうか。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 実は、ここではその1番の入院・施設と2番の外来・居宅ということで、当初年間の計画数字と実績が書かれてます。実績のパーセンテージでいくと、入院は84.3%、外来については97.3%という率に上がっております。それを100とした場合に、今年度、29年度ですね、目標は相当下がっております。入院につきましては2万2,100に対して1万9,600人と目標は相当下がっております。実に1割、12%減の状況となっておりますし、外来につきましても初めから3%減となってる、この状況で本当に経営が、今年度3,700万のマイナスですが、もう半年過ぎておりますが、この実績数字は月々把握されておるのでしょうか、まず入院と外来の毎月の実績数、これ把握されておるのでしょうか。

○山本委員長 古井事務部長。

○古井病院事務部長 済みません。月々ごとに、月々に数字を出しまして把握はしております。例月出納検査というものが議会のほうに報告があると思っておりますけども、その中に患者数なり、それから、これまでの医療関係の類型数字とかいったものも上げておりますので、そういった形で月々の決算ていうか、月別の決算はしております。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 では、ちょっと28年度の今決算のことやってるんですけど、29年度の4月から例えば8月まではどの程度推移してるんでしょうか。ほぼ計画どおりなのか。

○山本委員長 数字につきましては、先ほど申し上げましたけども、例月出納検査の報告書が出ておりますので、それをごらんをいただければと思います。

惠比奈委員。

○惠比奈委員 健康診断ですが、私前にも言ったことがあるんですけど、政府管掌の健保組合の健康診断、今は年度初めに各病院にその申し込んでその健保からお金が出る健診なんですけど、好きなどころで受けれるようになってます。日南病院は、その受け入れの病院でないということで、日南病院でも受け入れたらどうですかということは何回も言ってきたんですが、人員が不足しているので通常の外来患者も診ながら健診の患者を受けることはできないというふうに言われたんですが、年間計画で1日に大勢大勢入れるんじゃないかって、国保の被保険者の健康診断は時には受け入れておられます、日帰りドックもやられておりますので、それに少しずつ加える形で、1日の人数を限って日を分けて振り分けたりしたら、希望の人が受けれるんじゃないかというふうに思います。人数が不足していて忙しいからというふうに言われますが、外来の患者数も減ってきておりますので、どこかで病気の人をどんどんつくってきてもらうというわけには普通の営業とは違いますので、病院が経営していく上でその患者をふやすということはなかなかできないかもしれませんが、健康を維持するための手伝いをするという、その病気になる一歩前でとめるというその役割に対して、病院も随分責任があるというふうに思いますので、そういうことに取り組まれば、精密検査が必要な場合は当然日南病院ですし、入院が必要な場合は日南病院になるという、後々ずっと考えたときには、そういう方法も今後積極的に取り入れていくべきではないかというふうに思いますが、いかがでしょうか。

○山本委員長 古井事務部長。

○古井病院事務部長 確かに健診につきましては、今までそれこそ人員が足りないという答弁をしておりました。というのが看護師もそうなんですけれども、最終的に判断を下す医師の手だてがつかないというのがあります。一つにはあります。今までの健診の推移を見てみますと、やはり国保も含めて若干減少にっております。ここら辺、昔とった件数ぐらいのところはまだ今でも十分とれるんだらうと思っておりますので、健診増に向けて努力をしていき、事業所健診というのをなるべく受けるように、そういった押しのべて受

け入れるような体制での受け入れを考えてみたいというふうに思います。

○山本委員長 よろしいですか。

久代委員。

○久代委員 同僚委員の質問で、考えてみたいと言われるけども、具体的に今言われた医師、看護師等も職場のスタッフとで、具体的にこういう議会でこういう意見も出たと、私も前にしてた検診を全面的に取り組みというふうなことも言われて、確かにミニドックは40件ぐらい国保の関係はね。検診を受けておられます。それを今言われたように、具体的に職場内で、じゃ、その検診をするには何人、どういうふうにすれば対応できるかという話をやっぱり具体的に進められているのかどうなのか、今後いつまでにそういうことを、例えば来年度にはやろうとかいう詰めた話を議論する、職場内などで機会がきちりあるのでしょうか。

○山本委員長 古井事務部長。

○古井病院事務部長 実は、そういうチームをつくろうということで、俎上には上げていたんですけど、実質まだ稼働してないというような状況でございます。今後、早急にそういった実務を検討できるような会議を持ちたいというふうに思います。

○山本委員長 よろしいですか。

そのほか、ございますか。

そうしますと、日南病院についての審査は以上で終了したいと思います、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

そうしますと、職員の皆さんは退場していただいて結構です。お疲れさまでした。

○山本委員長 そうしますと、ただいま聞き取りの中で、特に意見を付したいというような事項がございますでしょうか。

そしたら15日、明日までに、もし意見がございましたらメール等で寄せていただきたいと思います。そうしますと、日南病院については以上で終了いたします。

ここで休憩をとりますので、次、保育園の審査をしたいと思います。再開を10時10分からとしますので、よろしく願いをいたします。

〔休 憩〕

午前9時50分～午前10時10分

○山本委員長 会議を再開します。

まず、お手元の資料の確認をお願いいたします。平成28年度主な施設の財産収入とい

う資料、3枚つづりの資料がございますので確認をしていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

そうしますと、これからは保育園の審査を行います。財産に関する調書、114ページになります。説明をお願いいたします。

田邊保育園長。

○田邊保育園長 それでは、失礼いたします。保育園の説明でございます。きょうは園長の田邊と副園長の大谷のほうが参っておりますので、2人で説明をさせていただきたいと思っております。よろしくをお願いいたします。

それでは、説明の資料のほうに沿って説明をさせていただきたいと思っております。平成28年度予算額が1億6,561万9,000円に対しまして、決算額は1億6,314万8,561円でございます。主な執行経費といたしましては、職員の給与、共済費、パート職員さん等の賃金等でございます。平成28年度につきましては、正規に保育士を2名採用いたしておりますので、給与費等が前年に比べてふえております。

事業の成果指標につきまして御説明させていただきます。保育園の事業につきましては、児童福祉法に基づいて、家庭の保育に欠ける児童を入所させて心身ともに健やかに育成するようにいろいろな策を講じて、その成果を高めております。保育所保育指針という保育所の原則に沿いながら、保護者、家庭及び地域と連携しながら子育ての充実を図っておるところでございます。

続きまして、事務・事業の成果、課題等ですけれども、支援保育士というところで、全園を対象としたフリーの支援保育士を配置しております。これにつきましては1名ですけれども、発達支援や外部機関、地域との連携等を行っております。

それから、2番目の早期保育・居残り保育・一時保育ですけれども、平常時間内保育では、もう少し保育に欠けるなというお子さんを預かっております。早期保育・居残り保育というところで実施をしておるところでございますが、これについては居残り保育数のところの下の方の園児数等も一緒にごらんいただければと思います。一時保育ですけれども、これは、にちなん保育園だけで実施をさせていただいております。

3番目の保育料の無償化です。平成28年度から全面保育料の無償化をさせていただき、子育て支援の充実、拡大というところを図っております。これにつきましてはアンケート等もさせていただいて、保護者さんのほうからとてもよい意見をたくさんいただいております。アンケートの集計、結果につきましては、議会のほうにも資料提供させていただい

てるところですけれども、やはり成果とすれば、生活が楽になったり子供の貯金とかにも回せるとか、2人目の子供が生まれたとか、Iターン、Uターンというところの声もいただいております。

それから、施設修繕、工事等ですけれども、石見保育園のほうが園庭のほうが荒れておりました、穴とか段差等ができておりましたので、そのところを修繕して園児が安全に遊べるように修繕いたしました。それから、夏が最近とても暑うございまして、分園のほうでもかなり保育に支障ができたり、熱中症ということも考えられましたので、石見保育園、山の上保育園にエアコンのほうを増設させていただいております。

課題等ですけれども、28年度にちなん保育園を本園といたしまして、石見、山の上、2つの保育園を分園として運営を行っておりました。休園しておりました多里保育園につきましては保護者さんとお話をしたりアンケートをとったりいたしました。その結果、やはり多里保育園のほうに入園を希望される方がないというところで、地域ともお話をさせていただき、28年度末をもって廃園ということにさせていただきました。下のほうの入園児童数ですけれども、毎年、総児童数につきましては3園合わせて100人前後というところで、特に大きな減少等はございません。ただ、未満児の入園の希望者というのがだんだんふえている状況にはあります。

主な執行経費ですけれども、職員給与費ですけれども1億220万2,000円というところで嘱託の職員の給与ですけれども、4,010万3,000円というところで大体が人件費、共済あたりのところで執行経費の8割程度を占めておる状況です。続いて報償費ですけれども、これは園児の検診をお願いいたしております町内の歯科医師さんにお支払いをしている手当てです。旅費のほうが23万5,000円ですけれども、職員研修に行かさせていただきました、県の保育士研修会や全国の野外保育研修会、全国人権保育研修会に参加をいたしております。これにつきましては、全員の職員が研修のほうに参加できるような配慮もいたしております。給食材料費ですけれども、給食材料費が846万7,000円です。保育材料費これは日用品に使うような子供にかかるような、日常的にかかるようなもののお金ですけれども、これのほうは192万2,000円、建物等の小修繕が103万6,000円、これは3園分のいろいろな小修繕に使わせていただきました。その他の需用費というところで465万円ほど使っておりますけれども、ほとんどが光熱費でございます。役務費につきましては、131万5,000円、3園の建物共済とか電話代とか郵券費でございます。委託料の72万円は消防の設備点検、浄化槽の管理経費、

暖房費等の保守点検料です。工事請負費等で82万円使っておりますけれども、これは先ほど御説明させていただきました石見と山の上保育園のエアコンの設置費でございます。備品購入費につきましては、3園分の保育にかかる備品というところで、三輪車とかラジカセとか保育用品を中心に買わせていただいております。

特定財源の内訳でございますけれども、県の補助金が1,246万入っております。これにつきましては、2つの補助事業で1つ目は、無償化ということにさせていただいた関係で、鳥取県の中山間地域市町村保育料無償化モデル事業というものを申請させていただきました。これは所要額の2分の1というところの補助金でございます。もう一つにつきましては、低年齢児受け入れ保育士加算等補助金というところですが、国の補助につきましては、1歳児が6人に1人の保育士ということで基準ですけれども、鳥取県は4.5人に1人の保育士の配置をすると補助金がいただけるという制度がございまして、それを申請しまして、日南町の保育園では1歳児につきまして4.5人に1人の保育士を配置しておりますので、その補助金をいただいております。2番目の過疎債につきましては、先ほどのエアコンのほうの82万円のうちの80万円というところで財源です。その他の財源ですけれども、保育料、前年まではたくさんの保育料をいただいたところで収入があったわけですが、今年度から28年度からは無償化にいたしましたので、これにつきましては、未収金というところでお願いをずっといたしておりまして、これにつきまして、少しずつですがお返しいただいたところがありまして、1万5,920円というところが入っております。諸収入ですが、これにつきましては職員の給食を食べている給食費というところが入っているところです。

一番最後に、未収金の報告でございますけれども、23年度前というところの未収の世帯が4世帯ございますけれども、これにつきましては町の未収金会議等でもいろいろ話をさせていただいておりますけれども、また今年度も家庭訪問等もこれから行っていかうかというところも考えておりますし、また町外に出られて所在がわからない方等もございまして、この辺も未収金の取り組み会議に図って検討対応を今後していきたいと考えております。以上です。

○山本委員長 ただいま説明をしていただきましたが、質疑ございますでしょうか。

久代委員。

○久代委員 最後に今説明されました収入未済、保育料の未収金ですが、全ての滞納の方に連絡はとれる状態にあると、ですか。そのことちょっと確認しておきたいと思い



ますが。

○山本委員長 田邊保育園長。

○田邊保育園長 先ほどお話をしましたように、1件につきましては、住所はそこにあるようですけれども実際に住んでおられないというところで、連絡のほうは1件はとれない方がある状況です。あとのところは連絡のほうはとれる状況です。

○山本委員長 久代委員。

○久代委員 発生したのがかなり前になると思うんですけども、そのいつごろから連絡がとれなくなったとか、いわば追跡的な調査ですよ。常に連絡をとれる状態でなければ回収もできないわけで住所不定の状態ではいけないわけだけでも、いつごろから、例えばその件については連絡がとれなくなって、どのように対応をされているのかお聞きします。

○山本委員長 田邊保育園長。

○田邊保育園長 その1件につきましては、27年度私が保育園長になりまして、そのときにはお手紙等で督促というか、はしておりましたけれども、連絡がやはり返ってはいないんですけれども、連絡してこられないというところで一応追跡のほうもしてもらいましたところ、そこに住んでおられない、実態が。住所はそこにあるんだけれども、そこに住んでおられないというようなことがわかりまして、そのあといろいろと追跡というところもしたんですけれども、現在までちょっとその後のどこに住んでおられるかというところの本人さん確認はできてない状況です。

○山本委員長 よろしいですか。

足羽委員。

○足羽委員 説明の中に、保護者、家庭及び地域と連携した子育て支援の充実を図るとありますけれども、その中で特にその地域との連携した子育て支援ですね。特にどういったことをされてたか、教えていただきたいなと思います。

○山本委員長 田邊保育園長。

○田邊保育園長 特にというところでございました。山の上保育園のほうでは、地域の女性会の方に来ていただいて、いろいろな料理であったりとかいうようなことを一緒にさせていただいたり、それから、地域に出かけてリンゴ狩りといいますか、袋をかけたとか育てるところを見せていただいたり、それからトマトの収穫というところで実際にその現場に行かせていただいたりとかいうようなところ、それから、石見につきましては、田植えとかいうようなところも地域のお年寄りの方にしていただいて、先生になっていただい

たりしながら、そういうようなことをやってきております。

○山本委員長 そのほかございますか。

久代委員。

○久代委員 保育料の無償化という点については、福祉保健課と連携されて、日南町を福祉、子育て支援で、一定の宣伝広報活動もやられてきているとは思いますが、この現場で、親御さん、育てておられる方のアンケートは拝見いたしました。子育ての一つの子育て政策をより充実させるという点で、非常に大きな昨年度は決断をされて、親御さんの反応もあります、IUターン、あるいは広く定住対策で、その保育園の現場の方がこの保育園長、副園長おられますけども、現実にはどういう実感を持っておられるのかということをお聞きしたいし、それ口コミでやっぱりこういう話は全県的に保育料軽減する政策は完全無償化は江府町なんかも、江府町だったかな、若桜町か、とっておられる自治体もかなりふえてきましたけども、やっぱりこれをきっかけに日南町で子育てをしたいとか、そういう傾向が何らかの形で生まれているとか、そういうことは、この保育料無償化で新たなことが何かあったのかどうなのかお聞きしたいと思います、どうでしょうか。

○山本委員長 田邊保育園長。

○田邊保育園長 久代委員の質問ですけれども、どんどんというわけではありませんけれども、やはりUターンしようというときの、一つの指標というか、保育料無償化っていうことで後押しになったということの、実際に帰ってこられた方のお話等は聞いておりますので、選択肢の中の大きな一つにはなっているのかなとは、私たち職員のほうは思っております。

○山本委員長 よろしいですか。

そのほかございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）

ないようでしたら、保育園についての聞き取りは以上で終了いたします。

職員の皆さん、退場していただいて結構です。お疲れさまでした。

そうしますと、保育園について、特に意見を付すべき事項等はございますでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

そうしますと、今朝ほど申し上げましたが、資料請求しておる一覧表がございます。この資料につきましては、本日夕方までということをお願いをしておりますが、内容によっては本日まで間に合わない可能性もあります。もうお帰りになった後になると思いますので、届かなかったものについては、メールで送らせていただきたいと思いますので、よろ

しくお願いを申し上げます。

それと、本日まで聞き取りをしまいましたが、何度も申し上げますが、意見等ございましたら、事務局のほうにメールで送っていただければと、意見を寄せていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

そうしますと、次回は9月21日に意見の取りまとめを行いたいと思いますので、お集まりいただきたいと思います。よろしく願いをいたします。

そうしますと、本日の委員会は以上で終了いたします。お疲れさまでした。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

委員長

副委員長